

次回あおぞらカフェ四月一九日(土)開催決定 HPVワクチンに関するお知らせ

どうぜんの人々 No.3

このコーナーでは、同善会に関わる人々にインタビューしていきます！
今月は、同善病院・同善会クリニック統括院長の辻央生先生にインタビューしました。
三ノ輪のことを知るために、当院周辺でよくお買い物をされるとおしゃっていた院長。運が良ければ院長を見かけることがあるかも？

つじひさお
辻 央生 院長

①出身地

東京都北区赤羽出身

②同善の良いところ

あたたかいところ

③地域の皆さんにメッセージ

少しずつ三ノ輪に慣れていきます



昨年4月のあおぞらカフェの様子
今年も晴れますように！



この木に春を彩ります！

みんなでつくる春と同善会の駐車場を 春らしいもので彩る！

HPVワクチンの接種を逃した方へ
公費負担期間が延長されました

二〇二二年から始まつたあおぞらカフェ。次回開催が四月一九日に決定しました！四月はお花見の時期ではあります、あおぞらカフェの会場である同善会クリニックの駐車場にある木にはまだ花が咲かない…それならみんなで作った花を咲かせてみよう！ということで、現

在、東京藝術大学と台東区社会福祉協議会と共同で企画しているところです。当クリニックの木に花を咲かせるにあたり、当日現地にいらっしゃった方は手作りの花を折り紙などで作つてもらつたり、春らしいイラストを描いたものを飾つてもらつたり。現地に来ることが難しい病棟患者さんや在宅医療センターの患者さんは、花だけではなく患者さんが読んでおられる短歌や春らしい布などを持ち寄つてもらつたり、飾つてあるものを送り合つ場にしたり。いろんな形でおおぞらカフェに参加できる方法を考えていますので、次号でお知らせいたします。お楽しみに！

年三月三一日までの三年間の期間中に少なくとも一回以上接種している、

ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの定期接種対象年齢(小学六年～高校一年相当)の間に接種を逃した方がいらっしゃることから、まだ接種を受けていない方にHPVワクチンの接種の機会を提供しています。接種の対象となる方は、①令和四年四月一日～令和七年三月三一日までの三年間の期間中に少なくとも一回以上接種している、

②平成九年四月二日から平成二一年四月一日までの間に生まれた女子で病棟患者さんや在宅医療センターの患者さんは、花だけではなく患者さんが読んでおられる短歌や春らしい布などを持ち寄つてもらつたり、飾つてあるものを送り合つ場にしたり。いろんな形でおおぞらカフェに参加できる方法を考えていますので、次号でお知らせください。(医師 加藤)

イベントのお知らせ

大人気企画クレープパーティー開催決定

また間に合います
HPVキャップアップ接種

2025年3月末までに
1回以上接種した方は
4月以降も公費

平成9～19年度生まれの女性対象

クリニックからのお知らせ

誰もが肩書きに囚われず、一人の人として楽しめる場所へ

次回で九回目の開催となるあおぞらカフェ。当初は「当院スタッフと患者さんの垣根を超えた関わりを持てる場所」だったのが、回を重ねるごとに「医療者と患者としてではなく、人と人として一緒に楽しむ場所」に進化しているを感じています。あおぞらカフェには、それぞれ「患者」「スタッフ」など肩書きありきで来られます
が、イベンツと一緒に楽しむことによって、診療の場では話さないような会話からその人が大切にしていること・好きなことなどを知ることによって「その人個人」と一緒に接することができる場所となっています。その人らしくありのままの自分でいられる場所、肩書き関係なくフルットに関われる場所として、地域住民・当院患者・当院スタッフ・医療福祉関係者など、様々な方々が混じり合い交流していただけたら嬉しいです。（田辺）

